



横浜市立川和中学校 学校だより

# 川 和



1980年(昭和55年創立)

創立30周年記念キャラクター  
kawawan

「川和の菊」として有名であった若菊の二枚重ね  
学習等に励み、立派な人になる願いを込めて

5月号 令和6年5月27日発行

## 自分に何ができるか

校長 高部 振司

麦秋至（むぎのとき いたる）

風に揺れる金色の麦の穂。陽の光を浴び、そこだけが別世界のようです。都筑区内にも多くはありませんが、麦畑があります。

時には何も考えず、金色の畑を眺めることもよいですね。

5月1日の1時間目、全校生徒に体育館に集ってもらい、私が授業を行いました。

内容は、令和2年に起きた横浜市内の中学生の痛ましい出来事を受け、その概要と家族や友人、同級生、教職員の心情に触れ、決して消えない心の痛みを伝えました。

同時に川和中学校でも折に触れ「人の嫌がることをしない」話をしていても、なかなか現実のものにはならない実情も伝えました。

「どうして」「なぜ」と質問し、818人の生徒にとって、「お互いが気持ちよく過ごすためにはどうしたらよいのか」を考え、記録する時間もとりました。考えるだけでなく、生徒手帳（この時間のために体育館に持参）に記録することで、いつでも見返すことができ、自分自身の実行と振り返り、発展ができることも伝えました。

全校生徒を代表し、学年ごとに3名の生徒から自分の考えを発表してもらいました。

3年「相手の気持ちに寄り添って行動する。」

2年「信頼できる友達を作る。」

1年「誰に対しても同じ態度で接する。」

発表するたびに自然と起こる拍手。素晴らしいことだなあと感じ入りました。

発表してくれたのは3名だけでしたが、一人ひとりが考えたことを実行することを重ねてお願いしました。

また、生徒指導専任からは自分の感覚を大切に、相談することの重要性、相談できる人の紹介がありました。

教職員も含めた一人ひとりの心がけて、お互いが気持ちよく過ごせる川和中学校でありますように、心から願います。



川和富士の麓に咲くネモフィラの花。今年も川和富士公園愛護会の方々に感謝です。



自然教室のしおり表紙  
2年1組 池田愛織